



銀行

株式会社滋賀銀行

滋賀県の地方銀行。地域に根ざした金融機関として、取引先企業に対する環境ビジネスへの呼びかけやマッチングを行うなど、地域企業とのネットワークを生かしたサステナビリティ経営の普及促進に取り組んでいる。また滋賀県が掲げる“しがCO₂ネットゼロ”ムーブメントと連携した融資制度を新設する等、自治体とも連携し脱炭素を「面で広げる」取組を行っている。



滋賀銀行

事業者概要 (2022年9月30日現在)
代表者 取締役頭取 高橋 祥二郎
所在地 滋賀県大津市浜町1番38号
電話番号 077-521-9530
従業員数 1982人
URL <https://www.shigagin.com/>

取組の背景

- 近江商人の「三方よし」の精神や、県のシンボルである琵琶湖の環境保全等、滋賀県は従来から環境意識が高い地域。
- 1990年代から「環境経営」を他行に先駆けて実践。地方銀行初の「しがぎんSDGs宣言」や、お金の流れで地球環境を守る「環境金融」、省資源・省エネに努める「エコオフィスづくり」、「環境ボランティア」にも取り組む。

地方銀行 # ZEB # 環境ビジネス # 地域の脱炭素支援

取組の内容

地銀初！独自のサービス

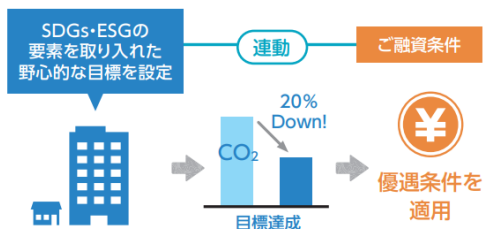
- 『しがぎん』サステナビリティ・リンク・ローン
SDGsやESGに関する“野心的目標”の達成状況と連動して融資条件が優遇される金融商品。
地方銀行では同行が初。
- SLL“しがCO₂ネットゼロ”プラン
サステナビリティ・リンク・ローンの中でもCO₂削減に特化したプラン。
県と同行にCO₂削減目標を提出し、達成した場合に優遇条件が適用される。県のCO₂排出実質ゼロの実現と、企業価値向上を同時に目指す金融商品。
- 未来よしサポート (CO₂排出量算出サービス)
IT技術を活用したCO₂排出量の計測管理ツールにより、企業全体のCO₂排出量を見える化し、削減計画の作成や資金調達等を伴走支援。

SDGs経営に対する伴走支援

- SDGsコンサルティング
SDGs経営に取り組む企業に対し、企業理念から具体的戦略に至るまで、同行職員がコンサルティングを行い、SDGsを取り入れたビジネスモデルの展開を支援。
※これまでに製造業やサービス業など**161社**を支援 (令和5年1月末現在)
- ESGファイナンス専門チーム
本店にSDGsやESGの専門的な知識を持つ**ESGファイナンス専門チームを配置**。
SDGsコンサルティングやESGファイナンスの組成、営業店支援を通じて、行内のSDGs人材を育成を担う。

カーボンニュートラル店舗

- 2015年6月、CO₂排出量を実質ゼロにする「カーボンニュートラル店舗」として栗東支店を建て替え。
 - 支店屋根や駐車場屋根に**PVを設置**。昼間の余剰電力は売電。電気自動車も導入。
 - LED照明に加え、自然光を反射し取り入れる「スカイライトチューブ」、最適な照明の組み合わせで省エネにつなげる「タスクアンビエント照明」を導入。
- ➔ CO₂排出量を34% (30トン/年間) 削減、残りの66%を太陽光発電でまかなうことにより、実質CO₂排出ゼロを達成



『しがぎん』サステナビリティ・リンク・ローン



個社に寄り添ったコンサルティングでSDGsへの取組を支援



栗東支店の「カーボンニュートラル店舗」に向けた取組